

場合の数 大学入試問題にチャレンジ！！

[1][2020 広島工業大]

生徒 50 人に 100 点満点の数学と英語の試験をそれぞれ実施した結果、次の通りであった。

- ・数学の得点が 60 点以上の生徒は 20 人であり、英語の得点が 60 点以上の生徒は 18 人であった。
- ・数学と英語の得点が両方とも 60 点以上の生徒は 9 人であった。

このとき、数学と英語の得点が両方とも 60 点未満の生徒の人数を求めよ。

解説

生徒全体の集合を全体集合 U とし、数学の得点が 60 点以上の生徒の集合を A 、英語の得点が 60 点以上の生徒の集合を B とすると

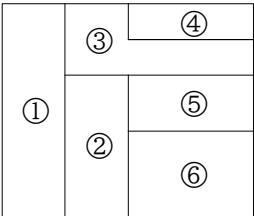
$$n(U) = 50, n(A) = 20, n(B) = 18, n(A \cap B) = 9$$

数学と英語の得点が両方とも 60 点未満の生徒の集合は $\overline{A \cap B}$ であるから

$$\begin{aligned} n(\overline{A \cap B}) &= n(\overline{A \cup B}) = n(U) - n(A \cup B) \\ &= n(U) - \{n(A) + n(B) - n(A \cap B)\} \\ &= 50 - (20 + 18 - 9) = 21 \text{ (人)} \end{aligned}$$

[2][2020 立命館大]

図の ① から ⑥ の 6 つの部分の色鉛筆を使って塗り分ける方法について考える。ただし、1 つの部分は 1 つの色で塗り、隣り合う部分は異なる色で塗るものとする。



- (1) 6 色で塗り分ける方法は、 通りである。
- (2) 5 色で塗り分ける方法は、 通りである。
- (3) 4 色で塗り分ける方法は、 通りである。
- (4) 3 色で塗り分ける方法は、 通りである。

解説

- (1) 塗り分け方の数は、異なる 6 個のものを 1 列に並べる方法の数に等しい。よって ${}_6P_6 = 6! = 720$ (通り)
 - (2) 6 つの部分 を ② → ③ → ⑤ → ① → ⑥ → ④ の順に塗ることを考える。
②, ③, ⑤ は異なる色を塗るから、5 色から 3 色を選んで塗る方法は ${}_5P_3 = 5 \cdot 4 \cdot 3 = 60$ (通り)
① には、②, ③, ⑤ 以外の色を塗る場合と、⑤ と同じ色を塗る場合がある。
[1] ① に ②, ③, ⑤ 以外の色を塗る場合
残りの 2 色から選んで塗る方法は 2 通り
① ⑥ に残った 1 色を塗る場合
④ には ①, ②, ⑤, ⑥ のいずれかと同じ色を塗るから 4 通り
ii) ⑥ に既に塗った色を塗る場合
⑥ には ① または ③ と同じ色を塗り、④ には残った 1 色を塗るから 2 通り
よって、[1] の場合は $2 \times (4 + 2) = 12$ (通り)
[2] ① に ⑤ と同じ色を塗る場合
⑥, ④ には残った 2 色を塗るから 2 通り
以上から、塗り分ける方法は $60 \times (12 + 2) = 840$ (通り)
 - (3) (2) と同様に、② → ③ → ⑤ → ① → ⑥ → ④ の順に塗ることを考える。
②, ③, ⑤ は異なる色を塗るから、4 色から 3 色を選んで塗る方法は ${}_4P_3 = 4 \cdot 3 \cdot 2 = 24$ (通り)
① には、②, ③, ⑤ 以外の色を塗る場合と、⑤ と同じ色を塗る場合がある。
[1] ① に ②, ③, ⑤ 以外の色を塗る場合
残った 1 色を塗るから 1 通り
⑥ には ① または ③ と同じ色を塗り、いずれの場合も、④ には、① または ② または ⑤ と同じ色を塗るから $2 \times 3 = 6$ 通り
[2] ① に ⑤ と同じ色を塗る場合
⑥ には、残りの色を塗る場合と、③ と同じ色を塗る場合がある。
i) ⑥ に残りの色を塗る場合
⑥ の塗り方は 1 通り
④ には、① または ② または ⑥ と同じ色を塗るから 3 通り
ii) ⑥ に ③ と同じ色を塗る場合
④ には残りの色を塗るから 1 通り
よって、[2] の場合は $3 + 1 = 4$ (通り)
以上から、塗り分ける方法は $24 \times (6 + 4) = 240$ (通り)
 - (4) (2), (3) と同様に、② → ③ → ⑤ → ① → ⑥ → ④ の順に塗ることを考える。
②, ③, ⑤ は異なる色を塗るから、3 色から 3 色を選んで塗る方法は ${}_3P_3 = 3 \cdot 2 \cdot 1 = 6$ (通り)
① には ⑤ と同じ色を塗る。
⑥ には ③ と同じ色を塗る。
④ には ② または ⑤ と同じ色を塗る。
よって、塗り分ける方法は $6 \times 1 \times 1 \times 2 = 12$ (通り)
- 別解 (2) ~ (4) について、同じ色で塗る部分を決める方法)
- (2) ① ~ ⑥ のうち、同じ色で塗る 2 つの部分を決めて、5 色を塗り分けられよ。隣り合う部分は異なる色で塗るから、同じ色で塗る 2 つの部分は ① と ④, ① と ⑤, ① と ⑥, ② と ④, ③ と ⑥, ④ と ⑤, ④ と ⑥ の 7 通りある。よって、塗り分ける方法は $7 \times {}_5P_5 = 7 \times (5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1) = 840$ (通り)
 - (3) 4 色で塗る方法は、6 つの部分のうち
[1] 同じ色で塗る 2 つの部分を 2 組選ぶ
[2] 同じ色で塗る 3 つの部分を 1 組選ぶ
がある。
[1] A と B に同じ色、C と D に別の同じ色を塗ることを「AB と CD」のように表すと、同じ色を塗る部分の 2 組の選び方は
「①④ と ③⑥」、「①⑤ と ②④」、「①⑤ と ④⑥」、「①⑥ と ②④」、「①⑥ と ④⑤」、「②④ と ③⑥」、「③⑥ と ④⑤」
の 8 通りある。
[2] 同じ色で塗る 3 つの部分の選び方は
「① と ④ と ⑤」、「① と ④ と ⑥」
の 2 通りある。
よって、塗り分ける方法は $(8 + 2) \times {}_4P_4 = 10 \times 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 240$ (通り)
 - (4) 3 色で塗る方法は、6 つの部分のうち
[1] 同じ色で塗る 2 つの部分を 3 組選ぶ
[2] 3 つの部分と同じ色で塗り、残りのうち 2 つの部分と同じ色で塗り、更に残りの 1 つの部分を残った色で塗る
がある。
[1] 3 組の選び方は「①⑤ と ②④ と ③⑥」のみである。
[2] 同じ色で塗る部分の選び方は「①④⑤ と ③⑥ と ②」のみである。
よって、塗り分ける方法は $(1 + 1) \times {}_3P_3 = 2 \times 3 \cdot 2 \cdot 1 = 12$ (通り)

[3][2020 日本女子大]

a, b, c, d の 4 人が部屋 A, B, C に分かれて泊

場合の数 大学入試問題にチャレンジ！！

まる。空き部屋ができてよいとするとき、次の問いに答えよ。

- (1) すべての泊まり方は何通りあるか。

- (2) A が空き部屋である泊まり方は何通りあるか。

- (3) A は空き部屋だが B も C も空き部屋でない泊まり方は何通りあるか。

- (4) A または B が空き部屋である泊まり方は何通りあるか。

- (5) 空き部屋が1つもない泊まり方は何通りあるか。

解説

- (1) 4人の部屋の選び方は3通りずつあるから $3^4=81$ (通り)
- (2) 4人の部屋の選び方は B, C の2通りずつあるから $2^4=16$ (通り)
- (3) A が空き部屋で、B と C のどちらかが空き部屋であるのはそれぞれ1通りずつあるから $16-2=14$ (通り)
- (4) A, B が空き部屋である泊まり方は、(2) より、それぞれ 16通り
A も B も空き部屋である泊まり方は 1通り
よって $16+16-1=31$ (通り)
- (5) 少なくとも1つの部屋が空き部屋である泊まり方を考える。
少なくとも1つの部屋が空き部屋であるのは、1つの部屋だけが空き部屋である場合と、2つの部屋が空き部屋である場合である。
1つの部屋だけが空き部屋である場合は、(3) より $3 \times 14=42$ (通り)
2つの部屋が空き部屋である場合は 3通り
よって、求める泊まり方は $81-(42+3)=36$ (通り)